

VI. 消防団及び消防協力団体



訓練中の消防団員



防火の呼びかけ（幼年消防隊）育英保育園

1. 薩摩川内市消防団の組織

薩摩川内市消防団は、消防局の中央消防署・西部消防署・東部消防署・上甌分駐所・下甌分駐所の管轄区域にリンクさせ、中央・西部・東部・上甌・下甌の5大隊を、その下に9方面隊・32分団を組織。また、女性団員は、団本部に専任の団体部付き女性部を、上甌・下甌大隊には、分団所属の女性団員で構成する併任の大隊付き女性部を置いている。

薩摩川内市消防団の組織

H 23. 4. 1 現在

		分団名称	部数	班数	団員数	所轄区域					
薩摩川内市消防団	中央 (大隊長)	団長付本部員	団本部付き女性部	1部	2班	20	団本部				
		川内南方面隊 (方面隊長)	本部員 (副方面隊長)	川内中央南分団	4部	8班	69	川内・平佐西地区			
				川内南分団	4部	10班	72	隈之城・永利地区			
				平佐東分団	2部	4班	31	平佐東地区			
				高江分団	1部	2班	22	峰山地区			
		川内北方面隊 (方面隊長)	本部員 (副方面隊長)	川内中央北分団	4部	8班	74	亀山・可愛・育英地区			
				下東郷分団	2部	4班	30	八幡地区			
				高城東分団	2部	4班	34	高来地区			
				城上分団	2部	4班	30	城上・吉川地区			
		東郷方面隊 (方面隊長)	本部員 (副方面隊長)	東郷中央分団	2部	4班	47	斧測地区			
				東郷東分団	2部	4班	34	南瀬・山田地区			
				東郷西分団	2部	4班	32	鳥丸・藤川地区			
				西部 (大隊長)	川内西方面隊 (方面隊長)	本部員 (副方面隊長)	本部員 (副方面隊長)	水引分団	2部	4班	34
	高城西分団							2部	4班	37	湯田・西方地区
	川内西分団	2部	4班					32	滄浪・寄田地区		
	東部 (大隊長)	樋脇方面隊 (方面隊長)	本部員 (副方面隊長)	樋脇北分団	2部	4班	27	倉野・樋脇(上樋脇)地区			
				樋脇中央分団	2部	4班	31	樋脇(上樋脇を除く)地区			
				市比野中央分団	2部	4班	33	市比野地区			
		入来方面隊 (方面隊長)	本部員 (副方面隊長)	市比野南分団	2部	4班	27	藤本・野下地区			
				副田分団	2部	4班	37	副田地区			
				清色分団	1部	2班	20	入来地区			
		祁答院方面隊 (方面隊長)	本部員 (副方面隊長)	大馬越分団	1部	2班	20	大馬越・八重地区			
				朝陽分団	1部	2班	22	朝陽地区			
				黒木分団	1部	2班	22	黒木地区			
				上手分団	1部	2班	21	上手地区			
	上甌 (大隊長)	上甌方面隊 (方面隊長)	本部員 (副方面隊長)	本部員 (副方面隊長)	下手分団	2部	4班	30	大村・轟地区		
					蘭牟田分団	2部	4班	30	蘭牟田地区		
					里分団	4部	7班	68	里地区		
					上甌中央分団	4部	7班	53	上甌(浦内を除く)		
					浦内分団	2部	4班	41	上甌(浦内)地区		
	下甌 (大隊長)	下甌方面隊 (方面隊長)	本部員 (副方面隊長)	本部員 (副方面隊長)	上甌大隊付き女性部	1部	2班	実員(20)	分団所属で併任		
					下甌北分団	5部	10班	78	瀬々野浦・内川内・長浜・青瀬地区		
下甌南分団					4部	7班	59	手打・片野浦地区			
鹿島分団					3部	5班	43	鹿島地区			
				下甌大隊付き女性部	1部	2班	実員(20)	分団所属で併任			

団長 1 副団長 5 方面隊長 9 本部員 13 分団長 32 副分団長 32 部長 77 班長 151 団員 968 実員 1,288 (内女性 60) 定員 1,329
【副団長級】 **【分団長級】**
 (団長付本部員 1)
 (副方面隊長 12)

2. 消防団員定数及び実員

H 23. 4. 1 現在

階級 区分	団 長	副団長	方面隊長	本部員 (副方面隊長)	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	合 計
定 数	1	5	9	13	32	32	77	151	1,009	1,329
実 員	1	5	9	13	32	32	77	151	968	1,288

3. 消防団員の年齢

H 23. 4. 1 現在

年齢	18歳以上 20歳未満	20歳以上 25歳未満	25歳以上 30歳未満	30歳以上 35歳未満	35歳以上 40歳未満	40歳以上 45歳未満	45歳以上 50歳未満	50歳以上 55歳未満	55歳以上 60歳未満	60歳以上	平均年齢
1,273 (57)	3 (0)	33 (1)	115 (6)	158 (10)	193 (6)	213 (7)	234 (16)	203 (8)	100 (3)	36 (3)	42.3歳 (42.5)

() は女性団員

4. 方面隊別団員数

H 23. 4. 1 現在

区分 方面隊名	分 団 数	団 員 数 (人)	方面隊人口 (人)	世 帯 数 (世帯)	団員1人あたり 人口(人)
川内南方面隊	4	193	38,078	16,745	197
川内北方面隊	4	168	29,043	12,926	172
東郷方面隊	3	113	5,755	2,465	50
川内西方面隊	3	103	5,031	2,570	48
樋脇方面隊	4	118	7,195	3,374	60
入来方面隊	4	99	5,463	2,566	55
祁答院方面隊	4	103	4,119	1,848	39
上甌方面隊	3	162	2,813	1,487	17
下甌方面隊	3	180	2,781	1,636	15

※団長・団本部・団本部付女性部の計48名を除く

5. 消防団員の勤続年数

H 23. 4. 1 現在

勤続年数	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上
1,288 (60)	382 (46)	225 (10)	254 (1)	197 (3)	121 (1)	73 (0)	36 (0)

() は女性団員

6. 消防団車両の概要

H 23. 4. 1 現在

番号	大隊	方面隊	分団名	部名	車両名	車種	登録番号	購入年月	経過年数	ポンプ及びメーカー	備考	
1	中隊	団本部	団本部	団本部	団本部車	トヨタ	鹿児島 88 す 9533	H10.11	12			
2				団本部	ひげし号	三菱	鹿児島 22 す 1060	H 4. 5	18			
3				団本部	支援車	三菱	鹿児島 88 す 7692	H 9. 3	13			
4			西部大隊	団本部	大隊車	ダイハツ	鹿児島 80 あ 738	H 7. 9	15			
5			東部大隊	団本部	大隊車	ダイハツ	鹿児島 80 あ 476	H 3.12	19			
6			上甕大隊	団本部	大隊車	スズキ	鹿児島 80 あ 682	H 7. 3	15			
7	中央大隊	川内南	川内中央南	向田部	ポンプ車	日野	鹿児島 800 さ 3730	H13.11	9	A-2日本 ドライケミカル		
8				宮里部	積載車	トヨタ	鹿児島 88 す 4882	H 6. 7	16			
9				中央一部	ポンプ車	日野	鹿児島 800 す 618	H19.12	3	A-2日本機械		
10				中央二部	積載車	トヨタ	鹿児島 88 す 8101	H 9. 9	13			
11			川内南	隈之城部	ポンプ車	日野	鹿児島 800 さ 3731	H13.11	9	A-2日本 ドライケミカル		
12				中福良部	積載車	トヨタ	鹿児島 88 す 4250	H 5.11	17			
13				宮崎部	積載車	トヨタ	鹿児島 88 す 5972	H 7. 9	15			
14				永利部 永利班	積載車	トヨタ	鹿児島 800 さ 1069	H12. 1	10			
15				永利部 百次班	積載車	トヨタ	鹿児島 88 す 8100	H 9. 9	13			
16			平佐東	一部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 さ 6234	H15.10	7			
17				二部	積載車	トヨタ	鹿児島 88 す 8099	H 9. 9	13			
18			高江	高江部	ポンプ車	日野	鹿児島 800 さ 6283	H15.10	7	A-2日本 ドライケミカル		
19			川内北	川内中央北	大小路部	ポンプ車	日野	鹿児島 800 さ 5561	H15. 3	7	A-2日本 ドライケミカル	
20					中郷部	積載車	トヨタ	鹿児島 88 す 7052	H 8.10	14		
21		上川内部			ポンプ車	日野	鹿児島 800 さ 7486	H16.11	6	A-2日本 ドライケミカル		
22		亀山部			ポンプ車	日野	鹿児島 800 さ 7485	H16.11	6	A-2日本 ドライケミカル		
23		下東郷		一部	積載車	トヨタ	鹿児島 88 す 9545	H10.12	12			
24				二部	ミニ積載車	ダイハツ	鹿児島 80 あ 859	H 8.10	14			
25		高城東		高城部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 さ 3864	H13.12	9			
26				陽成部	積載車	トヨタ	鹿児島 88 す 9546	H10.12	12			
27		城上		上城上部	積載車	トヨタ	鹿児島 88 す 5971	H 7. 9	15			
28				下城上部	積載車	トヨタ	鹿児島 88 す 4238	H 5.11	17			
29		東郷		東郷中央	一部	ポンプ車	日野	鹿児島 800 す 2905	H22.12	0	A-2日本 ドライケミカル	
30						ミニ積載車	スズキ	鹿児島 80 あ 233	S 63. 3	22		
31					二部	積載車	トヨタ	鹿児島 88 す 3675	H 5. 3	17		
32						ミニ積載車	スズキ	鹿児島 80 あ 234	S 63. 3	22		
33			東郷東	南瀬部	ポンプ車	三菱	鹿児島 88 す 8087	H 9. 9	13	A-2日本 ドライケミカル		
34				山田部	ポンプ車	三菱	鹿児島 800 さ 462	H11. 9	11	A-2日本機械		

番号	大隊	方面隊	分団名	部名	車両名	車種	登録番号	購入年月	経過年数	ポンプ及びメーカー	備考	
35	中央大隊	東郷	東郷西	烏丸部	ポンプ車	いすゞ	鹿児島 800 さ 2139	H12. 9	10	A-2エレファント		
36				藤川部	ポンプ車	三菱	鹿児島 88 す 6018	H 7.10	15	A-2モリタ		
37	西部大隊	川内西	水引	水引部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 さ 3863	H13.12	9			
38				港部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 さ 3865	H13.12	9			
39			高城西	西方部	ポンプ車	三菱	鹿児島 88 す 9513	H10.12	12	A-2日本 ドライケミカル		
40				湯田部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 さ 2446	H12.12	10			
41			川内西	久見崎部	積載車	トヨタ	鹿児島 88 す 4881	H 6. 7	16			
42					寄田部	積載車	トヨタ	鹿児島 88 す 7053	H 8.10	14		
43						ミニ積載車	ダイハツ	鹿児島 80 あ 963	H 9. 9	13		
44	東部大隊	樋脇北	倉野部	積載車	トヨタ	鹿児島 88 さ 6240	H15.10	7				
45			岩下部	積載車	ニッサン	鹿児島 88 す 6210	H 7.12	15				
46		樋脇中央	塔之原部	ポンプ車	いすゞ	鹿児島 800 さ 693	H11.10	11	A-2モリタ			
47			河内部	積載車	ニッサン	鹿児島 88 す 6209	H 7.12	15				
48		市比野中央	市比野部	ポンプ車	日野	鹿児島 800 す 2841	H22.11	0				
49				積載車	トヨタ	鹿児島 88 す 9347	H10.10	12				
50				上手部	積載車	ニッサン	鹿児島 88 す 7363	H 9. 1	13			
51		市比野南	藤本部	積載車	ニッサン	鹿児島 88 す 6344	H 8. 2	14				
52			野下部	積載車	トヨタ	鹿児島 88 す 3496	H 4.12	18				
53		副田	一部	ポンプ車	いすゞ	鹿児島 88 す 5156	H 6.11	16	A-2モリタ			
54				積載車	トヨタ	鹿児島 88 す 7097	H 8.10	14				
55		入来	清色	清色部	ポンプ車	日野	鹿児島 800 す 407	H19. 9	3	A-2吉谷機械		
56			大馬越	大馬越部	積載車	トヨタ	鹿児島 88 す 7239	H 8.12	14			
57			朝陽	朝陽部	積載車	トヨタ	鹿児島 88 す 6191	H 7.11	15			
58	祁答院	黒木	1部	ポンプ車	日野	鹿児島 800 さ 8652	H17.12	5	A-2日本 ドライケミカル			
59			上手	1部	ポンプ車	三菱	鹿児島 800 さ 5196	H14.12	8	A-2モリタ		
60		下手	1部	ポンプ車	三菱	鹿児島 800 さ 3782	H13.12	9	A-2モリタ			
61			2部	積載車	トヨタ	鹿児島 88 す 9544	H10.12	12				
62		蘭牟田	1部	ポンプ車	日野	鹿児島 800 す 2028	H21.11	1	A-2日本 ドライケミカル			
63			2部	積載車	トヨタ	鹿児島 88 す 9543	H10.12	12				

番号	大隊	方面隊	分団名	部名	車両名	車種	登録番号	購入年月	経過年数	ポンプ及びメーカー	備考		
64	上 甌 大 隊	上甌	里	北部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 さ 2334	H12.11	10				
65				中部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 さ 2337	H12.11	10				
66				南部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 さ 839	H11.11	11				
67				支所部	水槽付ポンプ車	日野	鹿児島 800 さ 9738	H19. 1	3	A-2 GM いちほら	水 1.5t		
68			上甌中央	中甌部	多機能型	いすゞ	鹿児島 800 す 2318	H22. 3	0	モリタ			
69					ミニ積載車	ダイハツ	鹿児島 880 あ 579	H20.12	2				
70				江石部	ミニ積載車	スズキ	鹿児島 80 あ 522	H 4. 1	18				
71			平良部	ミニ積載車	スズキ	鹿児島 80 あ 598	H 5.12	17					
72			支所部	ポンプ車	いすゞ	鹿児島 88 す 9711	H11. 2	11	A-2モリタ				
73			浦内	浦内部	ミニ積載車	スズキ	鹿児島 80 あ 681	H 7. 1	15				
74					ミニ積載車	スズキ	鹿児島 80 あ 597	H 5.11	17				
75				桑之浦部	ミニ積載車	スズキ	鹿児島 80 あ 599	H 5.12	17				
76			下 甌 大 隊	下甌	下甌北	長浜1部	ポンプ車	日野	鹿児島 800 す 399	H19. 9	3	A-2日本 ドライケミカル	
77						長浜2部	多機能型	いすゞ	鹿児島 800 す 1289	H20.11	2	モリタ	
78							ミニ積載車	三菱	鹿児島 80 あ 876	H 8.12	14		
79	青瀬部	積載車				トヨタ	鹿児島 88 す 6212	H 7.12	15				
80		ミニ積載車				三菱	鹿児島 80 あ 771	H 7.12	15				
81	内川内部	ミニ積載車				三菱	鹿児島 80 あ 973	H 9.12	13				
82	瀬々野浦部	積載車				トヨタ	鹿児島 88 す 9755	H11. 2	11				
83		P付ミニ積載車				スバル	鹿児島 80 あ 1086	H10.11	12				
84	下甌南	手打1部			ポンプ車	日野	鹿児島 800 さ 7479	H16.11	6	A-2モリタ			
85		手打2部			積載車	トヨタ	鹿児島 88 す 9547	H10.12	12				
86					ミニ積載車	ホンダ	鹿児島 80 あ 1077	H10.11	12				
87		片野浦部			積載車	トヨタ	鹿児島 88 す 5153	H 6.12	16				
88					ミニ積載車	三菱	鹿児島 80 あ 772	H 7. 1	15				
89	支所部	ミニ積載車			三菱	鹿児島 80 あ 654	H 7. 9	15					
90	鹿島	1部			ポンプ車	日野	鹿児島 800 さ 9609	H18.12	4	A-2日本機械			
91			積載車	トヨタ	鹿児島 800 さ 6423	H15.12	7						
92		2部	ミニ積載車	ホンダ	鹿児島 80 あ 451	H 3. 1	19						
93			ミニ積載車	ホンダ	鹿児島 80 あ 452	H 3. 1	19						
94		支所部	ミニ積載車	三菱	鹿児島 80 あ 1664	H15.12	7						

7. 小型ポンプの概要

H 23. 4. 1 現在

番号	大隊	方面隊	分団名	部 名	機種名	購入年月	型 式	ポンプ級	備 考	
1		団本部	団本部	団本部	トーハツ	13. 11	V C 62 A S	B - 3 級		
2	中 央 大 隊	川内南	川内中央南	宮里部	シバウラ	15. 11	S F 656 M Z	〃		
3				中央二部	ラビット	20. 10	P 477	〃		
4			川内南	川内南	中福良部	シバウラ	7. 9	T F - 35	〃	
5					宮崎部	ラビット	12. 10	P 476	〃	
6					永利部永利班	ラビット	9. 11	P 455	〃	
7					永利部百次班	トーハツ	9. 9	V 46 B S	〃	
8			平佐東	平佐東	一部	シバウラ	15. 11	S F 656 M Z	〃	
9					二部	ラビット	20. 10	P 477	〃	
10			高江	高江部	シバウラ	4. 12	T F - 35	〃		
11			中 央 大 隊	川内北	川内中央北	中郷部	トーハツ	13. 11	V C 62 A	〃
12	下東郷	一部			ラビット	12. 10	P 476	〃		
13		二部			ラビット	12. 10	P 476	〃		
14	高城東	高城東			高城部	トーハツ	17. 3	V C 62 B S	〃	
15					陽成部	トーハツ	17. 3	V C 62 B S	〃	
16	城上	城上			上城上部	ラビット	13. 11	P 476	〃	
17					下城上部	ラビット	9. 12	P 455	〃	
18	東郷	東郷中央			一部	シバウラ	10. 6	S F 656 M H	〃	
19					二部	トーハツ	5. 3	V 46 A S	〃	
20		ラビット				9. 7	P 455	〃		
21		東郷東	東郷東	南瀬部	トーハツ	11. 7	V 46 B S	〃		
22				山田部	ラビット	9. 7	P 455	〃		
23		東郷西	東郷西	鳥丸部	シバウラ	10. 6	S F 656 M H	〃		
24	藤川部			シバウラ	15. 8	S F 656 M Z	〃			
25	西 部 大 隊	川内西	水引	水引部	ラビット	12. 10	P 476	〃		
26				港部	トーハツ	17. 3	V C 62 B S	〃		
27			高城西	高城西	西方部	シバウラ	7. 9	T F - 35	〃	
28					湯田部	シバウラ	10. 12	S F 661	〃	
29			川内西	川内西	久見崎部	ラビット	8. 10	P 408 R	〃	
30					寄田部	トーハツ	13. 11	V C 62 A	〃	
31						トーハツ	9. 9	V 46 B S	〃	

番号	大隊	方面隊	分団名	部 名	機種名	購入年月	型 式	ポンプ級	備 考	
32	東 部 大 隊	樋脇	樋脇北	倉野部	トーハツ	13. 11	V C 52 A S	B - 3 級		
33					トーハツ	62. 9	V 50 C	〃		
34				岩下部	ラビット	18. 1	P 476 B	〃		
35				樋脇中央	河内部	ラビット	9. 12	P 455	〃	
36			ラビット			62. 3	P 408 R	〃		
37			市比野中央	市比野部	ラビット	10. 10	P 555	〃		
38					上手部	シバウラ	6. 11	S F 655 M	〃	
39				トーハツ		59. 9	V 50	〃		
40			市比野南	藤本部	シバウラ	21. 12	S F 656 A Z	〃		
41					トーハツ	5. 12	V 46 A S	〃		
42				野下部	ラビット	16. 8	P 476 A	〃		
43					トーハツ	7. 12	V 46 A S	〃		
44			入来	副田	二部	トーハツ	12. 11	V C 62 A S	〃	
45				大馬越	大馬越部	トーハツ	12. 7	V C 62 A S	〃	
46		朝陽		朝陽部	シバウラ	9. 7	S F 660 MH	〃		
47		祁答院	黒木	1 部	ラビット	13. 9	P 476	〃		
48			上手	1 部	ラビット	10. 12	P 476	〃		
49			下手	2 部	ラビット	10. 12	P 476	〃		
50			藺牟田	2 部	ラビット	10. 12	P 476	〃		
51		上 甌 大 隊	上甌	里	北部	ラビット	10. 11	P 455	〃	
52	中部				ラビット	8. 11	P 450	〃		
53	南部				ラビット	12. 12	P 455	〃		
54	上甌中央			中甌部	トーハツ	6. 12	V 4601	〃		
55					トーハツ	20. 12	V C 62 B S	〃		
56				江石部	ラビット	7. 1	P 450	〃		
57	平良部			シバウラ	21. 12	S F 656 A Z	〃			
58	浦内			浦内部	シバウラ	21. 12	S F 656 A Z	〃		
59					ラビット	5. 12	P 450	〃		
60				桑之浦部	ラビット	7. 1	P 450	〃		

番号	大隊	方面隊	分団名	部 名	機種名	購入年月	型 式	ポンプ級	備 考
61	下 甌 大 隊	下甌	下甌北	長浜2部	トーハツ	20. 11	V F 53 A S	B - 3 級	
62					シバウラ	20. 9	S F 756 A Z	〃	
63				青瀬部	ラビット	7. 12	P 450 S	〃	
64					ラビット	7. 12	P 450 S	〃	
65				内川内部	ラビット	9. 11	P 450 S	〃	
66				瀬々野浦部	ラビット	10. 11	P 408 R E	〃	
67					ラビット	9. 11	P 455	〃	
68			下甌南	手打2部	ラビット	10. 10	P 457	〃	
69					ラビット	21. 12	S F 656 A Z	〃	
70				片野浦部	ラビット	6. 11	P 450 M	〃	
71					ラビット	7. 12	P 450 R S	〃	
72			支所部	ラビット	9. 12	P 455	〃		
73			鹿島	2部	ラビット	15. 12	P 455 A	〃	
74					ラビット	9. 12	P 440 S	〃	
75					ラビット	18. 1	P 476 B	〃	
76					ラビット	7. 12	P 450 S	〃	
77					ラビット	13. 9	P 455 A	〃	
78					ラビット	16. 9	P 455 A S	〃	
79					ラビット	16. 11	P 455 A S	〃	
80				支所部	ラビット	15. 9	P 455 A	〃	

8. その他、消防行政協力団体

(1) 薩摩川内市危険物安全協会

(組 織)

H 23. 4. 1 現在

会 長	副 会 長	評 議 員	監 事	顧 問	正 会 員	賛 助 会 員
1 名	3 名	10 名	2 名	1 名	118 事業所	9 事業所

(事 業)

- | | |
|---------------------|-----------------------------|
| 1. 消防思想の普及高揚と災害予防対策 | (6) 普通救命講習会の開催 |
| (1) 災害事故例等参考資料の配布 | (7) 接地抵抗計、訓練用消火器の貸出し |
| (2) 法令改正等研修 | 2. 会員相互の親睦 |
| (3) 危険物保全に関する啓発及び指導 | 3. 危険物取扱者及び事業所の表彰 |
| (4) 先進地視察及び災害現場視察 | 4. 薩摩川内市管内危険物取扱事業所の本会への加入促進 |
| (5) 自衛消防隊消火競技大会の実施 | 5. その他本会の目的達成に必要な事業 |

(予 算)

歳 入

平成 23 年度 (単位：円)

会 費	補 助 金	繰 越 金	雑 収 入	計
901,000	0	266,967	10,000	1,177,967

歳 出

会 議 費	事 業 費	事 務 費	県危協負担金	雑 費	予 備 費	計
250,000	315,000	400,000	121,000	10,000	81,967	1,177,967

(2) 薩摩川内市防火管理協会

(組 織)

H 23. 4. 1 現在

会 長	副 会 長	理 事	監 事	正 会 員	賛 助 会 員
1 名	4 名	30 名	2 名	369 事業所	10 事業所

(事 業)

- | | |
|----------------------------|-----------------------|
| 1. 防火管理者の育成及び消防（防火）思想の普及高揚 | 5. 防火ポスター展の実施 |
| 2. 防火管理者及び防災担当者の研修会、講習会等 | 6. 各種災害の予防対策の研究 |
| 3. 自衛消防隊消火競技大会の実施 | 7. 消防施設の維持管理の指導及び保守点検 |
| 4. 普通救命講習会の開催 | 8. 協会紙の発行 |
| | 9. 優良会員事業所等の表彰 |
| | 10. その他本会の目的達成上必要なこと |

(予 算)

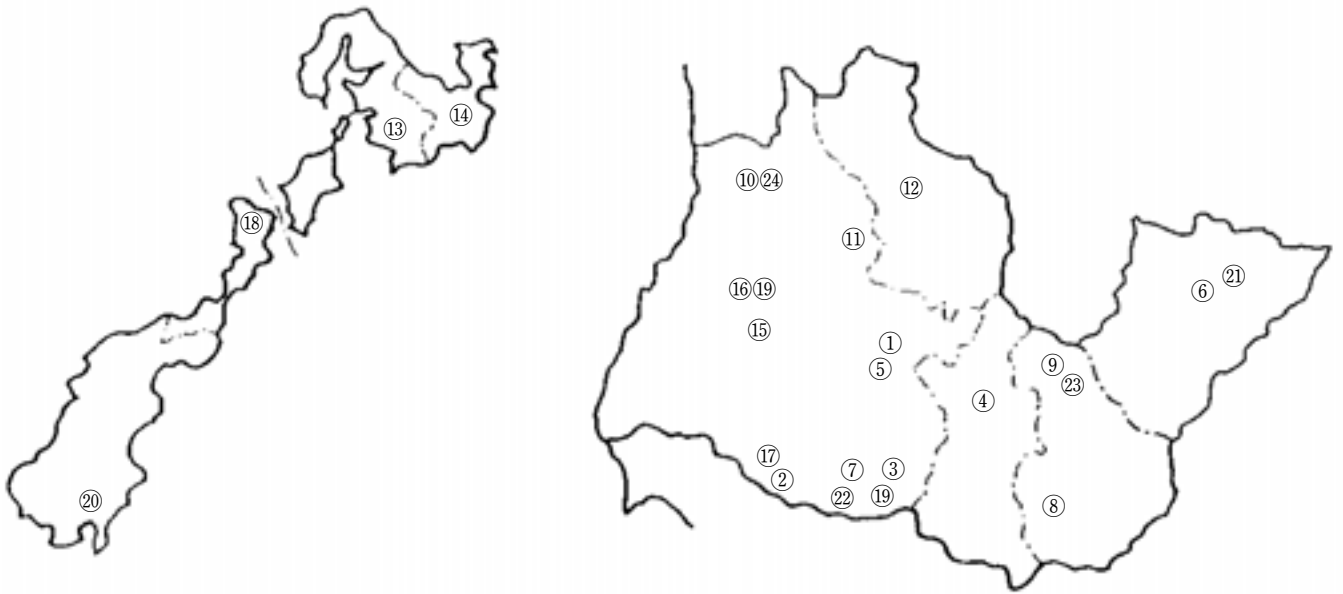
歳 入

平成 23 年度 (単位：円)

会 費	補 助 金	繰 越 金	雑 収 入	計
1,610,000	0	255,245	1,000	1,866,245

歳 出

会 議 費	事 業 費	事 務 費	雑 費	予 備 費	計
290,000	940,000	590,000	3,000	43,245	1,866,245



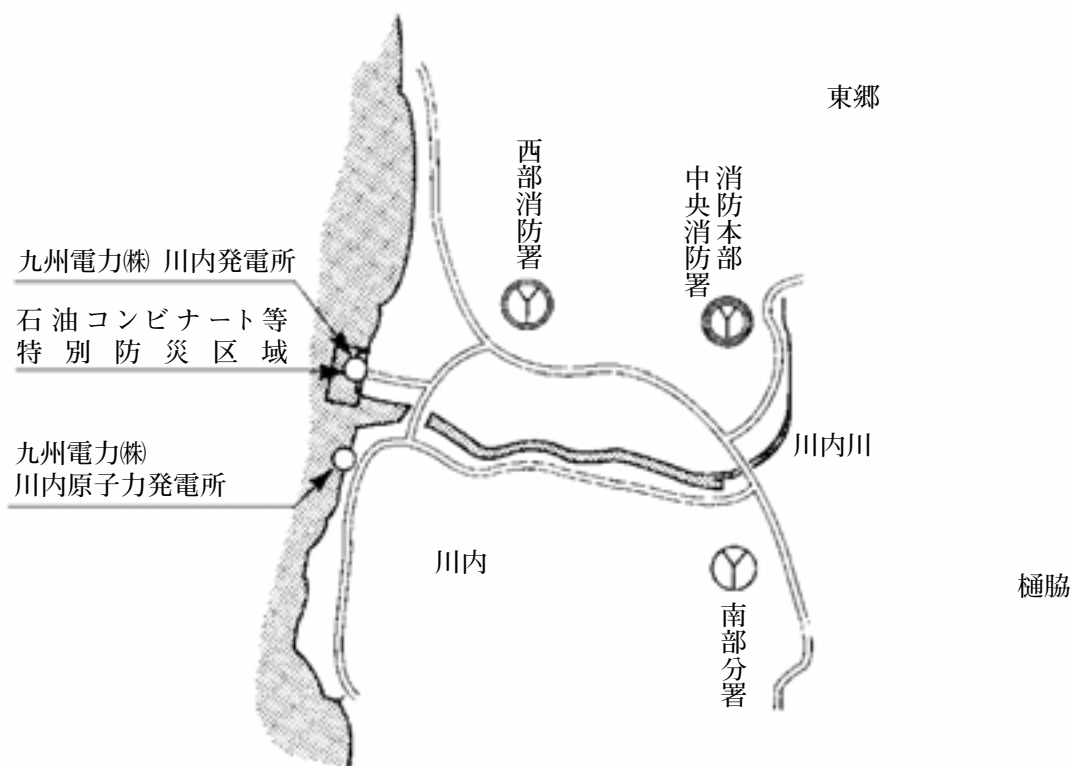
● 消防クラブ結成状況

H 23. 4. 1 現在

番号	ク ラ ブ 名	結成年月日	人員	所 在 地
1	平佐保育園幼年消防隊	S 58. 4.30	135	平佐町 3879 番地 2
2	青山幼稚園幼年消防隊	S 59.10.22	85	青山町 4194 番地
3	永利保育園幼年消防クラブ	S 59.11. 1	123	百次町 1069 番地 22
4	善福寺保育園幼年防火クラブ	S 59.11. 1	67	樋脇町塔之原 1177 番地
5	川内幼稚園幼年消防隊	S 60. 4.22	74	平佐町 3590 番地 2
6	祁答院幼稚園幼年防火クラブ	S 60.10. 1	17	祁答院町下手 255 番地
7	勝目保育園幼年消防隊	S 61.10.27	30	勝目町 5315 番地 71
8	入来保育所幼年消防クラブ	S 61.11.15	30	入来町浦之名 7517 番地 3
9	浄国寺保育園幼年消防クラブ	H 11. 4. 1	60	入来町副田 5752 番地
10	西風園幼年消防クラブ	H 11. 4. 2	17	西方町 2605 番地 1
11	育英保育園幼年消防クラブ	H 11.12. 1	83	中郷 4 丁目 187 番地
12	東郷幼稚園幼年消防クラブ	H 12. 1.11	113	東郷町斧淵 4773 番地 2
13	中津幼稚園幼年消防クラブ	H 13. 5.21	26	上甕町中甕 253 番地
14	里幼稚園幼年消防クラブ	H 13. 6.19	24	里町里 1650 番地 1
15	高江保育園幼年消防クラブ	H 15. 1.15	57	高江町 1901 番地
16	水引保育園幼年消防隊	H 15. 8. 1	43	水引町 4795 番地
計			984 名	
17	青山少年消防クラブ	S 58.11. 3	12	青山町 4222 番地 14
18	鹿島少年消防クラブ	H 3. 5.22	11	鹿島町藺牟田 1397 番地
19	川内精舎少年消防クラブ	H 11. 5. 1	24	百次町 649 番地 1
計			47 名	
20	祁答院幼稚園女性防火クラブ	S 60.10. 1	14	祁答院町下手 255 番地
21	勝目保育園女性消防クラブ	S 63. 1.23	30	勝目町 5315 番地 71
22	副田女性防火クラブ	H 9. 5. 1	15	入来町副田 5857 番地
23	西方女性防火クラブ	H 12. 2. 1	16	西方町 2413 番地
計			75 名	
合計			1,106 名	

9. 特殊施設

H 23. 4. 1 現在



◎ 九州電力(株) 川内発電所

総合出力 1,000,000kw

1号機 500,000kw

2号機 500,000kw

附帯施設

重油タンク 30,000kl 1基

原油タンク 30,000kl 3基

軽油タンク 300kl 2基

アンモニア { 15 t 1基
10 t 1基

◎ 九州電力(株) 川内原子力発電所

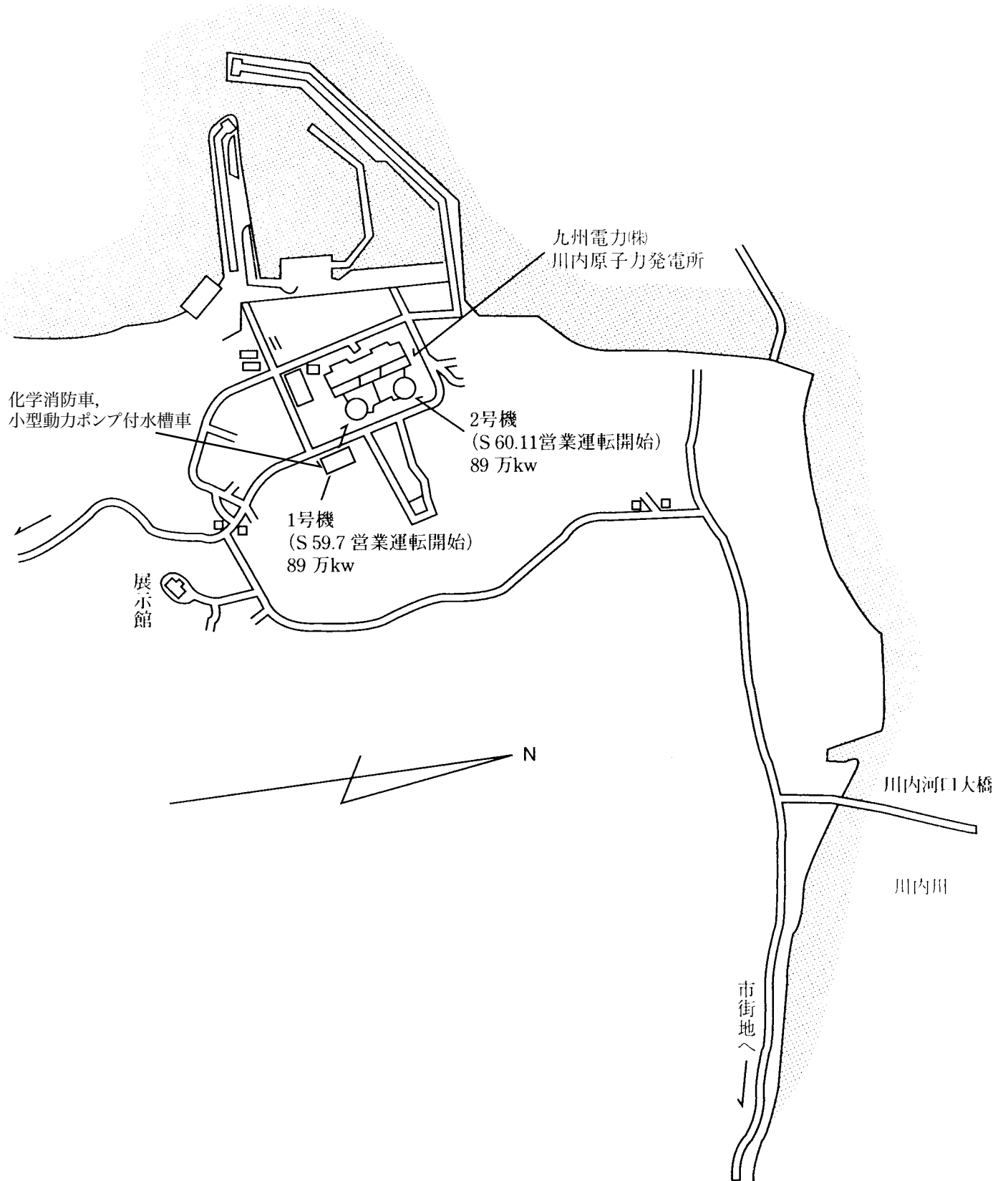
総合出力 1,780,000kw

1号機 890,000kw

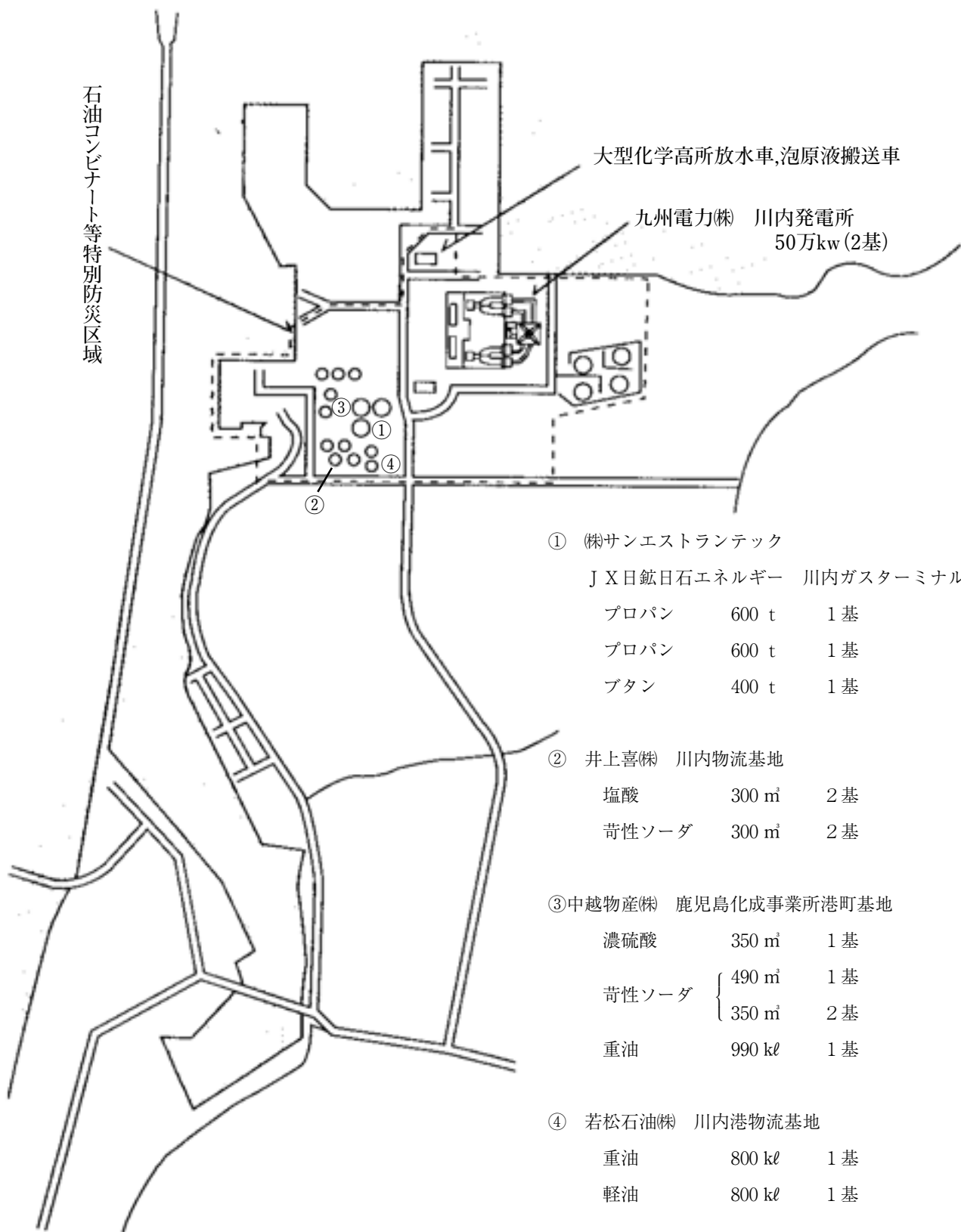
2号機 890,000kw

原子炉 低濃縮二酸化ウラン

軽水減速・軽水冷却加圧水型 2基



石油コンビナート等特別防災区域



- ① (株)サンエストランテック
 J X日鉱日石エネルギー 川内ガスターミナル
- | | | |
|------|-------|-----|
| プロパン | 600 t | 1 基 |
| プロパン | 600 t | 1 基 |
| ブタン | 400 t | 1 基 |
- ② 井上喜(株) 川内物流基地
- | | | |
|-------|--------------------|-----|
| 塩酸 | 300 m ³ | 2 基 |
| 苛性ソーダ | 300 m ³ | 2 基 |
- ③ 中越物産(株) 鹿児島化成事業所港町基地
- | | | |
|-------|--------------------|-----|
| 濃硫酸 | 350 m ³ | 1 基 |
| 苛性ソーダ | 490 m ³ | 1 基 |
| | 350 m ³ | 2 基 |
| 重油 | 990 kl | 1 基 |
- ④ 若松石油(株) 川内港物流基地
- | | | |
|----|--------|-----|
| 重油 | 800 kl | 1 基 |
| 軽油 | 800 kl | 1 基 |

付録

1. 消防本部・署の沿革（川内市消防本部）

年	月	概	要
昭和 26年	4月 1日	消防本部を創設（初代消防長 近藤磨瑳雄（団長兼務）以下 9 人）	
昭和 27年	11月 13日	自動車ポンプを購入（消防長以下 18 人）	
昭和 32年	10月 20日	気象観測開始	
昭和 33年	1月	自動車ポンプを購入（人口 62,492 人，職員 27 人，自動車ポンプ 2 台）	
昭和 34年	11月 10日	消防署を創設（近藤消防長，初代署長を兼務）	
昭和 35年	6月 30日	近藤消防長（署長）退任，第 2 代消防長に仮屋重夫市助役が消防長事務取扱として就任	
昭和 36年	3月 1日	第 2 代消防署長に須田清春就任	
昭和 37年	4月 1日	大小路分遣隊を新設（職員 9 人，自動車ポンプ 1 台）	
	5月 17日	日本損害保険協会より消防ポンプ自動車の寄贈を受ける	
昭和 39年	3月 25日	消防無線開設（基地 1，移動 3 台）	
昭和 41年	12月 15日	須田清春署長が第 3 代消防長に，平瀬松次次席が第 3 代署長に就任	
昭和 43年	4月 15日	平瀬署長退任（須田消防長，第 4 代署長を兼務）	
	5月 1日	救急業務開始（職員 41 人，自動車ポンプ 4 台，救急車 1 台）	
昭和 45年	12月 28日	須田消防長（署長）退任，児玉篤信市助役が第 4 代消防長事務取扱となる	
昭和 46年	1月 9日	平山武徳次席が第 5 代署長に就任	
	7月 7日	平山武徳次長兼署長に就任	
	9月 30日	児玉消防長事務取扱が退任，横山正元市長が第 5 代消防長事務取扱に就任	
昭和 47年	1月 17日	梯子車（24 m）を購入（職員 53 人，自動車ポンプ 3 台，救急車 1 台）	
昭和 48年	9月 1日	川内信用金庫より救急車の寄贈を受ける	
	9月 18日	鹿児島県共済農業協同組合連合会より救急車の寄贈を受ける	
昭和 49年	9月 28日	横山消防長事務取扱が退任，福壽十喜市長が第 6 代消防長事務取扱に就任	
昭和 50年	1月 7日	平山次長 署長の兼務を解き，浜田博之第 6 代署長に就任	
	3月 20日	日本損害保険協会より消防ポンプ自動車の寄贈を受ける	
	6月 23日	平山次長退任	
	11月 3日	日乃出屋より器具車の寄贈を受ける（職員 54 人，本部車 1 台，自動車ポンプ 3 台，梯子車 1 台，救急車 2 台，器具車 1 台）	
	12月 1日	十島良郎次長に就任	
昭和 53年	4月 1日	川内市中郷町 2，0 2 3 に新庁舎落成移転，同時に大小路分遣隊は市役所庁舎に移転，向田分遣隊と改称	
	5月 15日	川内信用金庫より消防指揮車の寄贈を受ける	
昭和 54年	7月 20日	京都セラミックより救急車の寄贈を受ける	
昭和 55年	3月 3日	浜田署長退任，堀之内成夫第 7 代署長に就任	
	11月 20日	十島次長退任，堀之内成夫次長兼署長に就任	
	11月 26日	タイヨーより救急車の寄贈を受ける	
昭和 56年	1月 20日	堀之内次長兼務を解き署長	
	1月 26日	福壽消防長事務取扱退任，山本孝一第 7 代消防長に就任	

川内地区消防組合

年	月	概	要
昭和 56年	4月 1日	1市3町4村を構成員とする川内地区消防組合発足 条例定数 105人 実員 76人 管理者 福壽十喜 助役 仁礼国市 収入役 松永富男 初代消防長 山本孝一 向田分遣隊を中央消防署南部分署と改称	
	7月 15日	川内地区消防組合紋章・組合旗の制定	
	12月 1日	土地区画整理事業により、消防本部・署の所在地町名地番変更 (川内市原田町 185 番地)	
昭和 57年	2月 10日	日本自動車工業会より救急車の寄贈を受ける	
	2月 24日	中央消防署上甌・下甌分駐所庁舎及び消防吏員待機宿舎完成	
	3月 31日	救急指令装置をB型電子式に整備・無線局寺山公園中継局設置 中央消防署上甌・下甌分駐所開所 各所に職員 6人・救急車 1台配備	
昭和 58年	1月 28日	中央消防署車庫新築 (鉄骨スレート葺 32 m ²)	
	3月 11日	鹿児島県共済農業協同組合連合会より救急車の寄贈を受ける	
	3月 18日	東部消防署庁舎完成 (入来町浦之名 727 番地 2)	
	3月 19日	日本損害保険協会より救急車の寄贈を受ける	
	4月 1日	東部消防署開署 (職員 11人, 水槽付消防ポンプ自動車 1台, 救急車 1台, 指揮車 1台配備)	
	10月 1日	東部消防署に職員 6人を増置, 17人とする コーアガス鹿児島・南日本ガスより指令車の寄贈を受ける	
	11月 1日	川内信用金庫より救急車の寄贈を受ける	
昭和 59年	1月 26日	管理者 福壽十喜 急逝	
	3月 12日	仁礼国市第 2 代管理者に就任	
	3月 26日	西部消防署庁舎完成 (川内市水引町 3397 番地 2)	
	4月 1日	西部消防署開署 (職員 13人, 大型高所放水車 1台, 水槽付消防ポンプ自動車 1台, 救急車 1台, 指揮車 1台配備)	
	7月 1日	萩迫良和第 2 代助役に就任	
	8月 28日	日本消防協会より電源照明用資機材搬送車の寄贈を受ける	
	10月 1日	西部消防署に職員 4人を増置, 17人とする	
	11月 1日	中央消防署通信指令室にファクシミリ設置	
昭和 60年	2月 27日	中央消防署倉庫新築 (鉄骨スレート葺 2階建 延面積 64 m ²)	
	2月 28日	寺山無線中継局に遠方監視装置増設	
	4月 1日	条例定数改正 119人 実員 108人	
昭和 60年	12月 3日	三井液化ガスより指揮車の寄贈を受ける	
	12月 25日	救急業務用地図等検索装置 (光ディスク方式) 購入	
昭和 61年	4月 1日	消防本部警防課に通信指令係を新設 (職員 3人)	
	4月 18日	消防組合発足 5 周年記念式典を挙行	

年	月	概	要
昭和 61年	8月 11日	山本消防長退任（萩迫助役が消防長事務取扱兼務）	
	10月 1日	野田泰宏第 2 代消防長に就任	
昭和 62年	3月 28日	消防本部，中央消防署庁舎増築・模様替工事（2 階部分 261 m ² 増築）	
	12月 7日	中央消防署車庫新築（鉄骨スレート葺 73.95 m ² ）	
	12月 15日	福崎勇夫氏（川内市）より救急車の寄贈を受ける	
昭和 63年	3月 9日	救助工作車及び救助資機材一式を購入，中央消防署に配備	
	6月 30日	消防庁長官表彰（表彰旗）	
	9月 6日	松永収入役退任	
	12月	森 卓朗第 2 代収入役に就任	
		市町村負担金分賦割合の変更につき関係市町村と協議	
		全市町村議会議決	
平成 元年	1月 30日	だいわより救急車の寄贈を受ける（川内市へ）	
	2月 2日	東部消防署車庫新築（鉄骨スレート葺 17.92 m ² ）	
	3月 4日	市町村負担金分賦割合の変更許可（県知事）	
	12月 5日	日本防火協会より防火広報車の寄贈を受ける	
平成 2年	3月 31日	野田消防長退任	
	4月 1日	内田耕也第 3 代消防長に就任	
	6月 16日	堀ストアより救急車の寄贈を受ける（川内市へ）	
	10月 24日	南九州開発より梯子車（35 m）の寄贈を受ける（川内市へ）	
平成 3年	4月 7日	川内ライオンズクラブより救急車の寄贈を受ける	
	8月 4日	消防組合発足 10 周年記念式典を挙行（第 9 回消防フェスティバル同時開催）	
平成 4年	3月 2日	原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から消防無線移動局の貸与を受ける（5w15 基）	
	3月 26日	中央消防署南部分署新庁舎完成（川内市若松町 8 番 20 号）	
	8月	中央・東部・西部各消防署で消防フェスタ開催	
	9月 1日	日本消防協会より救急車の寄贈を受ける	
	10月 1日	中央消防署南部分署に職員 4 人を増置，13 人とする	
	11月 1日	大型高所放水車を西部消防署から中央消防署南部分署に配置転換	
平成 5年	3月 20日	中央消防署南部分署に訓練塔建設	
	3月 16日	原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から消防無線移動局（5w10 基）及び救助資器材等（空気呼吸器 5 基他）の貸与を受ける	
	3月 27日	サンテックより小型船舶（1.5 t）の寄贈を受ける	
	9月 20日	市町村負担金分賦割合に関する組合規約変更届出（平成 6 年度負担金から適用）	
平成 6年	2月 15日	原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から消防無線移動局（10w2 基，5w6 基）及び救助資器材等（空気呼吸器 5 基他）の貸与を受ける	

年	月	概	要
平成 6年	4月 1日	通信指令室に河川情報等受信用端末機を設置	
	5月18日	救急救命士誕生, 11月に2人となる	
平成 7年	1月24日	阪神淡路大震災被災地へ職員5人, 車両2台を派遣	～28日
	3月31日	内田消防長退任	
	4月 1日	山口 傳第4代消防長に就任(昇任)	
		条例定数改正 128人 実員 123人	
		川内市のコンピュータ(サーバ)と電話回線により接続された端末機を消防本部総務課に設置, 財務会計のオンライン処理開始	
	5月19日	救急救命士3人となる	
	7月27日	日本損害協会より水槽付消防ポンプ自動車の寄贈を受ける	
	8月21日	第1回応急手当普及員講習会を実施(29人認定)	～23日
	8月25日	森収入役退任	
	8月29日	日本消防協会より救急車の寄贈を受ける	
	8月31日	萩迫助役退任	
	10月 1日	救急救命士の院内研修を川内市医師会立市民病院で実施	
		(10月2人, 11月2人)	
	11月22日	救急救命士4人となる	
平成 8年	1月18日	高規格救急車及び高度救命処置用資機材を購入, 中央消防署に配備	
	3月10日	仁礼管理者退任	
	3月11日	森 卓朗第3代管理者に就任	
	3月15日	原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から消防無線移動局(10w2基, 5w3基)の貸与を受ける	
	4月 1日	富山新八第3代助役に就任	
		若松隆久第3代収入役に就任	
		高規格救急車等による高度救急業務を開始	
		消防本部警防課の通信指令係を第1通信指令係及び第2通信指令係とする	
	4月 9日	コアガスグループより指令車の寄贈を受ける	
	8月20日	第2回応急手当普及員講習会を実施(29人認定)	～22日
	10月22日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加(熊本県菊池郡)	～23日
	12月 2日	救急救命士5人となる	
平成 9年	3月26日	鹿児島県北西部地震 M6.2 震度5強	
	3月31日	山口消防長退任	
	4月 1日	岩切秀雄第5代消防長に就任	
	4月 4日	カコイエレクトロより連絡車(ベスト電器号)の寄贈を受ける	
	5月12日	救急救命士6人となる	
	5月13日	鹿児島県北西部地震 M6.2 震度6弱	
	7月10日	鹿児島県消防相互応援協定に基づき出水市針原地区の土石流災害現場へ職員15人, 車両3台を派遣	～11日

年	月	概	要
平成 9年	8月 20日	日本宝くじ協会より消火・通報訓練指導車（けすゾウくん）の寄贈を受ける	
	10月 7日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加（福岡市）～ 8日	
	11月	救急救命士 7 人となる	
平成 10年	3月 7日	自治体消防制度 50 周年	
	3月 10日	代表電話番号の変更 0996 - 22 - 0119	
	4月 1日	消防緊急通信指令施設（Ⅱ型）稼働 携帯電話等からの 119 番通報受信開始 女性消防吏員 1 人採用	
	4月 22日	中央消防署梯子車（35 m）分解整備（オーバーホール）～ 9月 30日	
	5月 1日	川内地区消防組合潜水隊編成（7 人）	
	5月 12日	救急救命士 8 人となる	
	11月 19日	川内ライオネスクラブより予防指導車（川内ライオネスクラブ号）の寄贈を受ける	
平成 11年	11月 25日	救急救命士 9 人となる	
	2月 24日	東部消防署 高規格救急車等による高度救急業務を開始	
	3月 5日	市町村負担金の支弁方法の改正に伴う県知事への組合規約変更届出（平成 11 年度より適用）	
	4月 1日	消防本部に予防課を新設し 3 課 7 係となる 職員実数 128 人となる	
	4月 9日	消防行政相談日並びに普通救命講習会開催（以降毎月 9 日に定期的実施）	
	5月 11日	救急救命士 10 人となる	
	5月 20日	第 83 回全国消防長会法制委員会を樋脇町で開催 ～ 21 日	
	10月 19日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加（長崎市）～ 20 日	
	11月 10日	救急救命士 11 人となる	
平成 12年	2月 1日	消防本部及び消防署の住居表示変更 原田町 22 番 10 号	
	3月 17日	上・下甌分駐所消防職員待機宿舎を上・下甌に 1 棟ずつ新築し、合わせて 6 世帯確保となる	
	31日	富山助役退任	
	4月 1日	岩切消防長退任 岩切秀雄第 4 代助役に就任 春田廣士第 6 代消防長に就任	
		原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から（エアート一式、発電機等 8 式、防護服等 50 式）の貸与を受ける	
	18日	南部分署大型高所放水車分解整備（オーバーホール）～ 9月 30日	
	5月 9日	救急救命士 12 人となる	
	10月 23日	緊急消防援助隊全国合同訓練参加（東京都江東区）～ 24 日	

年	月	概	要
平成 12年	10月 29日	川内ライオンズクラブ (35 周年記念事業) から指揮広報車 (川内ライオンズ号) の寄贈を受ける	
	11月 1日	救急救命士 13 人となる	
平成 13年	3月 23日	原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から消防無線移動局 (5W5 基) の貸与を受ける	
	10月 2日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加 (佐賀市) ～ 3 日	
	10月 2日	消防組合 20 周年記念式典を挙行 (百次町, 屋内研修訓練体育施設にて) (株)	
	10月 2日	外蘭運輸機工より消防指揮車の寄贈を受ける	
平成 14年	3月 31日	春田消防長転任	
	4月 1日	伊豫田輝雄第 7 代消防長に就任	
	5月 13日	救急救命士 14 人となる	
	5月 29日	(有)宝山実業より救急車 (赤玉号) の寄贈を受ける	
	6月 28日	(株)おおとり荘より小型貨物自動車の寄贈を受ける	
平成 16年	10月 8日	川内地区消防組合 (昭和 56 年 4 月 1 日発足) 解散式を挙行 (中央消防署車庫にて)	

2. 東北地方太平洋沖地震緊急消防援助隊「薩摩川内市消防局」活動記録

◎派遣隊員

- (1) 鹿児島県隊 ・ 第1次派遣隊 (3/14～22) 15消防本部 37隊 108名
・ 第2次派遣隊 (3/21～23) 15消防本部 82名
- (2) 薩摩川内市消防局
- ア 第1次派遣隊 10名
- ・ 救助部隊 永田稔 (西部消防署), 大迫浩文 (予防課), 石原浩之 (警防課)
松下直生 (予防課), 帯田和志 (祁答院分署)
 - ・ 救急部隊 田中清総 (東部消防署), 領家慎二 (中央消防署), 谷口淳哉 (南部分署)
 - ・ 後方支援部隊 久木野信也 (警防課), 國分博文 (消防総務課)
- イ 第2次派遣隊 10名
- ・ 車両輸送部隊 菅牟田哲 (消防総務課), 重村卓児 (警防課), 上原義明 (警防課)
森山勝男 (予防課), 上川畑勝文 (中央消防署), 原直生 (中央消防署)
山崎久志 (南部分署), 前田浩幸 (東部消防署)
奥藪佑太 (祁答院分署), 小牟田健介 (西部消防署)

◎ 移動行程等 (走行距離及び時間帯) ※支援車メーターにて

- (1) 消防本部から進出拠点 (宮城県涌谷スタジアム) までの走行距離及び累計時間
- ・ 走行距離 約1950km 累計時間 約43時間 (休憩を含む) ※(2)～(5)合計
- (2) 3月14日 (日)
- ・ 13時40分 消防本部出発～宮崎県えびのPA鹿児島県隊集結
～3月15日 0時35分 広島県消防学校到着
走行距離及び時間 (休憩を含む) 約590km 11時間



鹿児島県隊集結状況

(3) 3月15日(火)

・ 5時50分 広島県消防学校出発

～ 13時50分 京都市消防総合活動センター到着 約430km 8時間

・ 16時30分 京都市消防総合活動センター出発

～ 3月16日 1時40分 静岡県消防学校到着 約300km 9時間

走行距離及び時間(休憩を含む) 約730km 17時間



京都市消防総合活動センター到着状況



静岡県消防学校到着状況

(4) 3月16日(水)

・ 14時40分 静岡県消防学校出発

～ 23時50分 東北自動車道那須高原SA到着

走行距離及び時間(休憩を含む) 約375km 9時間



那須高原SA野営状況

(5) 3月17日(木)

・ 6時15分 東北自動車道那須高原SA出発

～ 11時49分 進出拠点場所宮城県涌谷スタジアム到着

走行距離及び時間(休憩を含む) 約250km 5時間30分



宮城県三本木SA



進出拠点涌谷スタジアム到着状況

(6) 進出拠点から石巻広域消防本部までの距離・時間

・距離 約20 km 時間 約40分



石巻広域消防組合到着状況

(7) 活動終了・進出拠点引き揚げの状況

- ・消火、救助部隊については、3月20日（日）17時をもって活動を終了、石巻広域消防本部を引き揚げ、進出拠点場所涌谷スタジアムへ移動し、野営を行う。
- ・救急部隊については、3月21日（月）0時をもって活動終了。石巻広域消防本部にて仮眠を実施。8時石巻広域消防本部から進出拠点場所へ移動する。
- ・鹿児島県隊は、全ての活動を終了し、21日（月）9時30分涌谷スタジアムを出発し、東京消防庁消防学校へ向かう。



資機材撤収状況



進出拠点からの引き揚げ県隊長へ申告

(8) 3月21日(月)

・ 9時30分 進出拠点出発

～ 18時10分 東京消防庁消防学校到着

走行距離及び時間(休憩を含む) 約450km 8時間40分

(9) 3月22日(火) 第二次派遣部隊東京消防庁消防学校 6時出発

・ 11時35分 羽田空港出発 ～ 13時55分 鹿児島空港到着



第二次派遣部隊東京消防庁消防学校出発

(10) 3月22日(火) 第一次派遣部隊解団式

・ 14時10分 鹿児島空港駐車場



鹿児島空港の状況



解団式の状況



薩摩川内市消防局職員解団式の状況

(11) 市長報告

・本庁市民広場



市長報告の状況

(12) 局長申告

・消防局庁舎前



局長申告の状況

◎ 活動内容

(1) 救助部隊・後方支援部隊

ア 3月18日(金)

- ・石巻市役所周辺市街地、約1.5km浸水したと思われる住宅部分の調査実施。
住人の安否確認等を実施。



搜索状況

イ 3月19日(土)

- ・北上運河約2km付近の運河調査。
両岸及び薩摩川内市消防局アルミ製ボートを使用し、搜索活動実施。



搜索状況



現場状況

- ・遺体搬送隊を編成し、搬送実施。(鹿児島県隊6名で編成。大迫司令補参加)
2回合計5体の遺体を石巻広域消防本部港分署～石巻市青果市場遺体安置所へ搬送。(青果市場内には400体から500体の遺体が安置されていた。)



石巻広域消防本部港分署の状況



遺体の状況

- ・鹿児島県隊消火部隊2隊・救助部隊1隊は、現場対応のため石巻広域消防本部へ待機。
※13時40分 その他火災出場（鎮火のため途中帰署）



待機中の車両

ウ 3月20日（日）

- ・石巻市釜尾地内搜索活動実施

状況説明 行方不明者 約400名

（その内、大川小学校 児童108名・教諭11名が津波にのみ込まれ、約7割が行方不明であった。）

- ・現場到着時の状況

堤防の一部が決壊し、大川小学校・大川中学校周辺の町全体が水没している状況であり、自衛隊、警察関係が大川小学校周辺を搜索中であった。

- ・搜索状況

鹿児島県隊は、大川中学校付近を陸上及び舟艇4艘により搜索活動実施。

13時30分 民間の舟艇にて搜索活動、鹿児島県隊が遺体1体を発見する。

舟艇乗船者（薩摩川内市消防局 永田・松下・帯田、霧島市消防局職員 3名）

※舟艇の状況

民間の舟艇（船外機付き）1艘

薩摩川内市消防局アルミ製ボート1艘（手漕ぎにて活動）

新潟市消防局アルミ製ボート2艘（手漕ぎにて活動）



舟艇による搜索状況



陸上からの搜索状況

(2) 救急部隊

ア 鹿児島県隊救急出場数 約40件

イ 薩摩川内市消防局救急隊出場件数 5件

内訳 3月18日(金) 14時15分 調査出場 不搬送

19日(土) 10時47分 急病 石巻赤十字病院へ搬送

15時18分 転院搬送 石巻赤十字病院から涌谷病院へ

20日(日) 8時23分 一般負傷 不搬送

14時30分 一般負傷 石巻赤十字病院へ搬送



出場する車両



搬送先の石巻赤十字病院